

市議会だより（1面公募作品・愛称）にかかる他市等の状況について

1. 1面に掲載する公募作品（イラスト）について（他市の応募方法等）

① 1面にイラストを用いていると回答のあった中核市

12市/62市（うち公募を行っている市は、福山市のみ）※常時イラストを使用していない場合や、ワンポイントのみの場合も含む

② 1面にイラストを用いている市議会について（参考資料：各市の表紙及び福山市の応募要項）

	福山市	甲府市	呉市	松阪市
名称	ふくやま市議会だより	甲府市議会だより	チーム議会	みてんか
経緯	令和2年11月から市民の議会への関心をより高めるため開始。	経緯は不明。編集委員会で1面をどのようにするか協議。写真が多いが、テーマによりイラストを用いる場合もある。	発刊当初より、公募はせず委員会内で協議し特集に合わせた1面デザインとしている。	平成27年頃の協議で、市議会を身近に感じてもらうために開始。
公募	あり	なし	なし	なし
応募方法等	応募要項を作成している。（別紙要項を参照）	編集委員会で決まった写真やイラストは委員や事務局が用意している。	委員会で決まったデザインを事務局が印刷業者と協議し、作成している。	市内の高校の漫画研究部に依頼している。広報広聴委員会でテーマを決め約3か月前に依頼。
効果等	効果等を実証することは行っていないため不明。市民からの反応などはあまり頂いたことはないとのこと。コンスタントに応募してくる方からは、好意的な意見を聞く。	イラストの効果を図ることは難しいが、イラストを用いた場合には、好意的な反応があった。	学生との意見交換の際には、なじみのある人物、風景だと親しみがあるとの意見を受けてからは、そのような写真を多く用いている。	効果を確認するためのアンケートなどをとっていないので把握はしていない。好意的な意見を、議員が市民から聞いてくることはあるとのこと。採用者からは、周囲から好意的な反応があった、との報告はある。

③ 中核市議長会議会報コンクール受賞市に対する論評から1面イラストにかかる論評（一部抜粋）

- ・令和3年 和歌山市 「この表紙を見たら、思わずページを開きたくなる出来です。特集ページと結び付けたイラストと写真、見出しが相まってインパクトがあります。」

2. 市議会だよりのタイトル（愛称）について

① 愛称を用いていると回答のあった中核市

11市/62市（うち公募を行った市 4市）

② 愛称を公募した中核市4市の状況

	山形市	いわき市	越谷市	八王子市
名称	みちしるべ	ほうれんそう	harmony	ひびき
経緯	議会や市政を身近に親しみ、関心を持ってもらえる議会報へのリニューアルの一環として実施。平成27年5月1日号から現在まで使用している。	市民の皆様に親しみをもってもらいたい一層読んでもらえることを目的に、市民を対象に名称を募集。「報告・連絡・相談」が重要であること、ほうれん草から連想する「パワー」、すなわち活力ある議会活動が重要であることから、平成14年10月号よりこの名称となった。	昨年度、紙面構成の見直しを行った際、愛称の有無を協議した結果、市民に親しまれる議会報とするため、愛称を公募することが決定した。令和3年8月から愛称が掲載された。	平成29年の市制施工100周年を記念し、市民にさらに親しまれるために実施。
応募状況等	平成26年7月に全国から愛称を募集し応募された411点を議会報委員会で審査の上、全議員を対象にアンケート投票を実施し決定した。	公募では45件の応募があった。	公募の際には延べ138件の応募があった。	平成28年5月から公募し、22件の名称の中から決定した。
効果	効果を図れるようなアンケート等を行ってはないので分からない。関係者間では愛称で呼び合っているが、まだ外部の方には認識いただいていない状況でもある。	導入して20年近くたつので、愛称が浸透してきていると感じる。但し近年の議会報コンクールにおいて、議会報であるとの関連が分かりづらいとの指摘をうけ、「議会だより」の文字を併記するようにしている。	効果を図ることは難しく、直接的な反応はいまのところない。	具体的には感じられない。変更した当初、市議会だよりであるか分かりづらいとの声があり、併記する文字を大きくした経緯あり。

③ 中核市議長会議会報コンクールの論評から愛称にかかる論評部分の一部抜粋

- ・令和3年 倉敷市 「表紙の英字交じりの題字と特産のジーンズ調の布地の背景がセンスを感じさせる」
- ・平成29年 宇都宮市 「あなたと市議会」の題字が柔らかさを出している」
- ・平成27年 いわき市 「報告・連絡・相談のほかにポパイの活力を連想させるネーミングだったとは。元から手が込んでいる」